



じゃがいも収穫体験の様子

大しています。私たちは耕作放棄地を減らすことが有害鳥獣対策に繋がると考え、農地再生を進めました。

元農業高校の先生や地元農家さんの協力のもと、作業受託により水稻（約40アール）、じゃがいも（約10アール）、落花生（約5アール）を栽培し、収穫したお米や野菜は、会の活動に賛同してくださった方々に購入いただいているほか、道の駅等で販売しています。

そのほか、じゃがいも収穫体験やイベントでの農産物販売を通じて地域外との交流を図り、農業への関心を高めるとともに農業の楽しさを理解してもらえようという取り組みも進めています。また、地元企業と連携し、収穫した落花生を塩ゆで落花生として商品化し、6次化加工販売につなげることができました。

こうして一年間の活動を振り返ってみると、石田農地保全会の活動に賛同してくれた地域住民の方々と共に「オール石田」で活動できたことに大変感謝しております。これからも「オール石田」で活動していきたいと思っています。

（農業委員 菅野 照）

農業委員会だより

石田農地保全会は、地域農業の担い手として農地の効率的な利用を促進し、石田地区の遊休農地、耕作放棄地の再生を図るとともに、美しい農村景観を維持し未来に引き継ぐことを目的として地元の若手有志が本業の合間に楽しく汗を流しています。

石田地区では、高齢化等により耕作放棄地が増え、有害鳥獣被害、特にサルによる被害が拡

伊達市農業委員会だより

2024年第12号

伊達市 農業委員会だより

vol.
12



地域農業者の代表機関として、持続的に発展する農業を目指すため、市長に対し伊達市をとりまく諸課題に対する意見書を提出しました。

伊達市農地利用最適化推進委員

佐々木春男氏夫妻 県農業賞受賞

令和5年9月12日、箱崎地区の佐々木春男様・明子様ご夫妻が、第64回福島県農業賞を受賞しました。

氏は昭和54年に就農し、東日本大震災以降は、離農する果樹農家の増加による箱崎地区の遊休農地化を懸念し、その樹園地を借入れ、桃とりんご、水稻の複合経営による規模拡大を進めてきました。

桃栽培においては極早生品種「はつひめ」から極晩生種「幸茜」「さくら白桃」など14品種を栽培し、長期間収穫・出荷に努めているほか、新規就農者を支援し、地域園地の継承に尽力しており、これらが高く評価されました。この度の受賞、誠にありがとうございます。



佐々木春男様（左）と
妻の明子様（右）

今年の冬は、気象庁の予報どおり暖冬になってしまいました。山に雪も少なく、夏場の水不足が懸念されるところです。もっとも、年間降水量はほぼ一定ですので、帳尻合わせに、別の時期に雨量が多くなるかもしれません。今年は元日から能登半島地震が発生し、現地では今も復興に向け同じ農業者の皆様が奮闘しています。私共も災害に備えながら、前向きに取り組んでいきたいものです。

桃のつぼみも少しずつふくらんできています。（2月20日現在）忙しい、が、しかし充実した日々がやってきます。お互い元気で頑張りましょう。

（編集委員 菊池和彦）

編集委員

- 清野 直人（靈山地域）
- 土屋洋一郎（梁川地域）
- 吉田 浩重（伊達地域）
- 菊池 和彦（梁川地域）
- 後藤喜美枝（保原地域）
- 渡邊みき子（靈山地域）
- 高橋 敏明（月詔地域）

編集 発行 伊達市農業委員会事務局 令和6年3月28日発行
〒960-0692 福島県伊達市西町内橋180番地 ☎024-573-5623

令和6年度 伊達市農作業賃金標準額

令和6年4月1日

作 業 区 分		単 位	標準額	備 考
臨 時 雇	一般作業	1日	7,200円	水田、畑、果樹等の一般作業、1時間当り900円
	果樹の剪定	1日	11,200円	1時間当り1,400円
	摘蕾・摘花果	1日	7,200円	1時間当り900円
	柿の皮むき	1時間	900円	
	あんぼ、いら等袋つめ	1時間	900円	
	立木等伐採	1時間	1,600円	機械燃料持込
	果樹防除オペレーター	1時間	1,600円	
袋かけ もも・りんご・ぶどう		1日	7,200円	1時間当り900円（二重袋、ぶどう棚等状況に応じ調整）

1. 昼食を含みません。
2. 作業時間は8時間を基準とします。
3. 労働能力（作業内容・経験など）を勘案する場合は、最低賃金を下回らないよう当事者間で調整してください。
4. 最低賃金が毎年10月に見直されます。作業賃金がその額を下回る場合は最低賃金の額に読み替えてください。（福島県最低賃金 令和5年10月改定額 900円／1時間）

作 業 区 分		単 位	標準額	備 考
請 負 作 業	水	耕起	ロータリー耕 10a 7,000円	
			プラウ耕 10a 8,600円	
		代かき	10a 7,400円	植代まで
	田	畦ぬり（機械ぬり）	1m 60円	
		機械による田植	10a 7,500円	角植え別
		バインダーによる稲刈	10a 8,000円	角刈り別
		コンバイン	10a 30,500円	乾燥調整を含む、角刈り別、運搬・結束はそれぞれ1,000円増し
		ハーベスタによる脱穀	10a 8,200円	
		乾燥調整（もみすり）	玄米 60kg 2,000円	
		もみすり	玄米 60kg 1,000円	
	畑	耕起（ロータリー耕）	10a 7,000円	

1. ほ場条件は、基盤整備後の平坦地の乾田を標準としています。
2. 未整理地は、作業能率などを勘案して当事者間で調整してください。
3. 請負作業単価には、消費税は含まれておりません。別途計上してください。

※この標準額は、令和6年4月1日から令和7年3月31日まで適用となります。目安としてご利用ください。

平成21年12月15日に改正農地法が施行され、標準小作料は廃止されましたが、地域における賃借料の目安として、農業委員会が農地の賃借料情報を提供することになっています。
農地の貸し借りをする場合は、下記の賃借料情報を参考に双方で協議願います。

伊達市賃借料情報

令和5年1月から令和5年12月までに締結（公告）された賃貸借における賃借料水準（10a当り／年）は、以下のとおりとなっております。

伊達市農業委員会

地 域	区 分	平 均 額	最 高 額	最 低 額	データ数	備 考
伊達地域	田	12,100円	16,100円	7,400円	5	
	畑	9,200円	17,900円	5,000円	172	
梁川地域	田	6,500円	11,000円	2,400円	135	
	畑	9,400円	15,100円	3,700円	264	
保原地域	田	9,800円	16,300円	5,000円	127	
	畑	9,500円	15,600円	4,800円	117	
靈山地域	田	6,400円	10,700円	3,300円	38	
	畑	5,300円	9,100円	2,000円	42	
月舘地域	田	10,500円	14,200円	3,900円	14	
	畑	9,600円	18,400円	4,900円	13	
伊 達 市 （全体）	田	7,700円	13,700円	3,000円	302	
	畑	9,100円	16,700円	3,000円	602	

- *1 データ数は、集計に用いた筆数です。
- *2 賃借料を物納支給（水稲）としている場合は、60kg当り14,694円に換算しています。
※令和5年産米の相対取引平均価格（農水省R5年12月速報 コシヒカリ（中通り））より
- *3 金額は算出結果を四捨五入し100円単位としています。
- *4 実情に即した情報提供のため、区分毎に、全賃借料データの平均値の±70%を超えるものを除いています。

市長へ意見書を提出しました。

令和5年10月23日伊達市役所において、「令和6年度に向けた農地等利用最適化推進施策の改善に関する意見書」を市長へ提出しました。現在の農業行政の課題やその対応に関する意見を6項目にまとめています。

また、農業従事者の高齢化や農業用水、地域計画などの諸問題について意見交換を行いました。



須田博行伊達市長（左）と清野直人会長（右）

- （意見書の概要）**
1 遊休農地の発生防止・解消対策について
(1) 地域計画策定への支援と実践活動に必要な予算措置の継続
(2) 遊休農地を解消した際の補助金の創設など、農地集積の積極的な調整を行うための支援
- 農業後継者・担い手支援について**
(1) 物価高騰対策として資材費支援を継続
(2) 収入保険掛金に対する支援継続
(3) 新規就農者確保の方策としての定年帰農者支援、空き家を利用した住居・農地の確保
- 原子力災害対策について**
(1) 未だ出荷制限のある作目の状況改善、東電・国への働きかけ、風評被害払拭
- 鳥獣被害防止対策について**
(1) 深刻化するサル被害に対し、捕獲駆除計画の具体化や専門家による調査など対策の実施
- 防災・減災対策について**
(1) 電気柵等の設置に対する市補助金増額と国県への要請
(2) 河川やため池機能維持のための適切な管理
- 農作物被害対策について**
(1) 自然災害に対する営農活動継続のための支援
(2) 田んぼタムの研究と整備の推進など
(3) モモ穿孔細菌病対策

農業委員・推進委員改選 公募状況

現在の農業委員・農地利用最適化推進委員が令和6年6月30日で任期を満了するため、農業委員は1月31日、推進委員は2月19日まで公募を行いました。応募または推薦された人数等は左記のとおりです。詳細につきましては、伊達市ホームページ上をご覧ください。
選挙、6月議会承認を経て、市長または会長より任命された委員については、次回の農業委員会だよりにてお知らせいたします。

◆農業委員

応募又は推薦20名（定員19人）

◆農地利用最適化推進委員

伊達地区 応募又は推薦2名（定数2人）
梁川地区 応募又は推薦9名（定数9人）
保原地区 応募又は推薦7名（定数7人）
靈山地区 応募又は推薦6名（定数4人）
月舘地区 応募又は推薦2名（定数2人）



HPはこちら